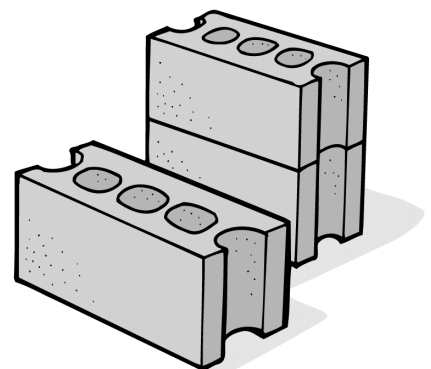


## ■正誤問題 (過去に出題された選択肢) 23 問

補強コンクリートブロック工事に関する問題です。○×で回答して下さい。

1. 縦目地空洞部には、ブロック 2 段ごとにモルタルを充填した。
2. 耐力壁のブロック積みにおいて、高さ 20cm のブロックを用いたので、横筋はブロック 3 段ごとに入れ、縦筋に緊結した。
3. モルタルと接するブロック面は、付着物等を取り除き、十分に乾燥させた後に、ブロック積みを行った。
4. 高さ 1.6m の補強コンクリートブロック造の塀において、長さ 3.0m ごとに控壁を設けた。
5. ブロックは、フェイスシェル厚の薄いほうを下にして積み上げた。
6. ブロック積みは、隅角部から順次中央部に向かって、水平に行った。
7. 耐力壁の縦筋は、ブロックの空洞部内において重ね継手とした。
8. 耐力壁の部分については、ブロックの 1 日の積上げ高さを 1.6m とした。
9. 壁縦筋は、ブロックの中心部に配筋し、上下端を臥梁、基礎等に定着した。
10. ブロックの保管は、種類及び形状別に区分し、雨掛りを避けるための覆いをした。
11. 直交壁のない耐力壁の横筋の端部については、180° フックとし、壁端部の縦筋にかぎ掛けとした。
12. ブロックの空洞部に電気配管を行ったので、配管の出入口周辺の空洞部に、モルタルを充てんした。
13. ブロック積みに先立ち、モルタルと接するブロック面に適度な水湿しを行った。
14. 高さ 2.0m の補強コンクリートブロック造の塀において、長さ 3.4m ごとに控壁を設けた。
15. 壁鉄筋のかぶり厚さは、ブロックのフェイスシェルの厚さを含めた厚さとした。
16. コンクリートブロックの空洞部の充てんコンクリートの打継ぎ位置は、ブロック上端面と同一とした。
17. コンクリートブロックの 1 日の積上げ高さは、1.6m を限度とした。

18. 目地モルタルは、加水練混ぜ後、60分以内で使い切れる量とした。
19. コンクリートブロックは、フェイスシェル厚の厚いほうを上にして積み上げた。
20. 壁横筋の重ね継手の長さは、45dとした。
21. ブロックの1日の積上げ高さは、2.0mとした。
22. といを設置するに当たって、とい受金物の埋込み箇所は、モルタルが充てんされる目地の位置とした。
23. 壁鉄筋のかぶり厚さの最小値は、フェイスシェルの厚さを含めずに、20mmとした。



## ■正誤問題 解答編

1. 縦目地空洞部には、ブロック 2 段ごとにモルタルを充填した。  
1. ○
2. 耐力壁のブロック積みにおいて、高さ 20cm のブロックを用いたので、横筋はブロック 3 段ごとに入れ、縦筋に緊結した。  
2. ○ **補強コンクリートブロック造の耐力壁は、その端部及び隅角部に径 12mm 以上の鉄筋を縦に配置するほか、径 9mm 以上の鉄筋を縦横に 80cm 以内の間隔で配置しなければならない。**
3. モルタルと接するブロック面は、付着物等を取り除き、十分に乾燥させた後に、ブロック積みを行った。  
3. × **モルタル又はコンクリートと接するブロックの面は、水湿しを行います。**
4. 高さ 1.6m の補強コンクリートブロック造の塀において、長さ 3.0m ごとに控壁を設けた。  
4. ○ **高さ 1.2m を超える塀(ただし、最高 2.2m)においては、長さ 3.4m 以下ごとに控壁を設ける。**
5. ブロックは、フェイスシェル厚の薄いほうを下にして積み上げた。  
5. ○
6. ブロック積みは、隅角部から順次中央部に向かって、水平に行った。  
6. ○
7. 耐力壁の縦筋は、ブロックの空洞部内において重ね継手とした。  
7. × **耐力壁の縦筋は、原則として、ブロックの空洞部で継いではいけません。**
8. 耐力壁の部分については、ブロックの 1 日の積上げ高さを 1.6m とした。  
8. ○ **1 日の積上げ高さの限度は、1.6m 程度を標準とします。**
9. 壁縦筋は、ブロックの中心部に配筋し、上下端を臥梁、基礎等に定着した。  
9. ○
10. ブロックの保管は、種類及び形状別に区分し、雨掛りを避けるための覆いをした。  
10. ○
11. 直交壁のない耐力壁の横筋の端部については、180° フックとし、壁端部の縦筋にかぎ掛けとした。  
11. ○
12. ブロックの空洞部に電気配管を行ったので、配管の出入口周辺の空洞部に、モルタルを充てんした。  
12. ○

13. ブロック積みに先立ち、モルタルと接するブロック面に適度な水湿しを行った。

13. ○

14. 高さ 2.0m の補強コンクリートブロック造の塀において、長さ 3.4m ごとに控壁を設けた。

14. ○

15. 壁鉄筋のかぶり厚さは、ブロックのフェイスシェルの厚さを含めた厚さとした。

15. × 壁鉄筋のかぶり厚さは、フェイスシェルの厚さを含めてはいけません。

16. コンクリートブロックの空洞部の充てんコンクリートの打継ぎ位置は、ブロック上端面と同一とした。

16. × 打継ぎ位置はブロック上端から 5cm 程度下がった位置とします。

17. コンクリートブロックの 1 日の積上げ高さは、1.6m を限度とした。

17. ○

18. 目地モルタルは、加水練混ぜ後、60 分以内で使い切れる量とした。

18. ○

19. コンクリートブロックは、フェイスシェル厚の厚いほうを上にして積み上げた。

19. ○

20. 壁横筋の重ね継手の長さは、45d とした。

20. ○

21. ブロックの 1 日の積上げ高さは、2.0m とした。

21. × 1 日の積上げ高さの限度は、1.6m 程度を標準とします。

22. といを設置するに当たって、とい受金物の埋込み箇所は、モルタルが充てんされる目地の位置とした。

22. ○

23. 壁鉄筋のかぶり厚さの最小値は、フェイスシェルの厚さを含めずに、20mm とした。

23. ○

